料金別納
郵便

ゆうメール

梅光

題字は初代学院長 広津藤吉先生

第53号

みことば(33)	餅原 研一	……… 2
会長挨拶	片山 宣子	……… 3
第21回梅光メモリアルデイに代えて - 第五回 メモリアルデイ説教 -	佐藤 泰正	……… 4
『梅花くすしく』に寄せられたコメント		………10
卒業生は現在		………12
第36回ソフトボール部OG会報告		………14
支部だより		………16
2020年度同総会報告		………20

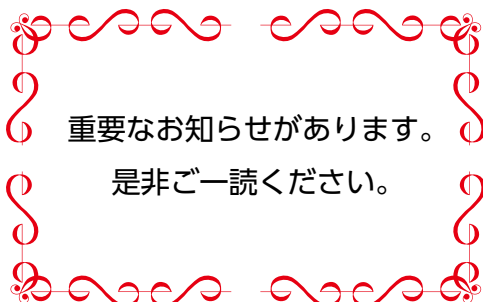


キャベツ畑

(112.0 × 145.5)

マルタは、いろいろのもてなしのためにせわしく立ち働いていたが、そばに近寄って言った。「主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」 ルカ 10・40

佐藤 京 画集 花のある風景より



重要なお知らせがあります。

是非ご一読ください。



梅光学院同窓会

下関市向洋町1丁目1番1号
(〒750-8511)

TEL・FAX 083-227-1111

E-mail jimukyoku@baiko-dousokai.jp
kaichou@baiko-dousokai.jp<http://baiko-dousokai.jp/>

振替口座 下関13100番



「みことば」

〈33〉

餅原 研一

(日本基督教団下関丸山教会牧師)

「みことばに聞く」 エフェソの信徒への手紙5章8-10



感染症対策のため学校の授業がオンラインに代わる中、生徒や学生は懸命に環境変化に対応し頑張っています。しかし、コロナ禍で三密や自粛等によって生活様式が変わり、思い通りにならず悩み苦しむ人もいます。この変化の時代の中でも変わることなく世界のベストセラーとして、人生に指針を与える聖書の御言葉に今、耳を傾ける必要があるのではないのでしょうか。

キリストは「聞く耳のある者は聞きなさい」と、注意を促し御言葉を語りました。また、キリストは福音伝道を始める前、断食をされ空腹を覚えられた時、「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」という誘惑の声を聞きます。その誘惑に対しキリストは、「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」(マタイ4:3-4)と聖書の御言葉を用いて誘惑を退けました。これは私達も聖書の御言葉によって、誘惑の罠から救われることを教えています。

さて、コロナ禍で家に引き籠る人が増えていますが、以前、不登校で引き籠る生徒に関わった時の話です。この生徒は学校に行っても教室に入らず、「クラスの全生徒が嫌い」と保健室で過ごしました。この生徒は人をすぐに嫌いなになり、人との壁をつくり敵意を持ち、不登校になり引き籠ったのです。この様な人に聖書は、「キリストは私達の平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し」そして、「十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼさ

れました。」(エフェソ3:14、16)と教えます。つまり、キリストは敵意という罪を十字架上で贖われ、悪化した関係を和解させ平和を実現されるというのです。また、聖書は家族や学校等、人が集う社会組織を人体に例え、一つの器官が欠けても体全体に悪影響が出る。これはコロナが肺に致命傷を与え、死に至ることからも理解できます。だから神から賜物を与えられた人は全て、一人も欠けてはならない尊い存在だと言います。そして、健康な体は「体に分裂が起らず、各部分が互いに配慮し合っています。」(コリントI 12:25)この体と同様に、人が集う社会も互いに助け補い合えば、健全な社会となると言うのです。この健全な社会を実現するためにキリストは最も重要な掟として、全身全霊をつくして「神である主を愛しなさい。また、隣人を自分のように愛しなさい。」(ルカ10:27)と教えます。自分を愛し、隣人を愛し、神を愛す。愛が重要だと言います。そして更に、「敵を愛し、あなたがたを憎む者に親切にしなさい。」(ルカ6:27)と言います。あなたは敵を愛せますか？敵を愛せない人が圧倒的に多いのではないのでしょうか。この難しい課題を可能にしてくれるのが神の愛なのです。神の愛なしには敵を愛することは出来ないと言います。そして神の愛は、主なるキリストに結ばれる必要があると聖書は言います。「あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じます。何が主に喜ばれるかを吟味しなさい。」(エフェソ5:8-10)主キリストに結ばれた人は、敵意が滅ぼされ敵と和解でき、光の子として主に喜ばれる人生を歩む者とされるのです。

あの不登校で悩み苦しみ「死にたい」と呟いた生徒は、この聖書の御言葉を聞き、中学高校を卒業し、今、夢に向かって歩んでいます。

今もキリストは「聞く耳のある者は聞きなさい」と、御言葉を語られています。主に結ばれて光となる高い志を持って互いに助け合い、光の子として更に主に喜ばれる梅光学院とされることを祈ります。





会長挨拶

会長 片山 宣子



会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

昨年に続き今年も総会・メモリアルデー礼拝が実施できませんでした。

大変残念なことですが、6月19日・7月4日という時期、コロナワクチン接種の状況を考慮しての決断でした。ご理解いただきたく思っております。

私自身も会長選挙での決定を経ずに、役員会や各支部長からの了解を得て会長を続けており、通常ではない現状に恐縮しております。

一方で、この世界的なパンデミックの状況の中、同

窓会活動の在り方を考え直す機会ともなりました。別紙でご案内しております。

が、10月23日(土曜日)に臨時総会を行いたいと考えています。別紙をよくご覧ください。この頃にはワクチン接種もかなり進んで総会成立に必要な参加者数が

いただけるだろうという判断です。十分な感染予防を心掛け、開催したいと考えております。皆様のご参加を心より願っております。

議題にしたいことは、同窓会法人化の問題と学院執行部との関係に向けてのことです。

会誌「梅光」53号には故佐藤泰正先生がメモリアルデーでお話ししてくださいました。かつて38号に掲載された第5回メモリアルデーの説教です。

今、再読することで、私たちの心に力と希望が与えられるように感じております。

さて、今、同窓会が直面

し困っているのは学院執行部との関係です。

従来、学院長が月1回の同窓会役員会に参加してくださり、学院の取り組みや同窓会への協力依頼などを話して下さり、それをもとに活動の方針などを考えておりました。同時に、理事会にも同窓会長や同窓会推薦者合計4名を評議員として出しておりました。理事

会で検討される学院の大きな方針を共有し、同窓生としての意見も申し上げる機会でした。

しかし、今では再度にわたる理事会への参加要望は拒否されております。

学院長の役員会参加も2019年からありませんし、「外部者(同窓会)は学院ホームページを見てください、同窓会に話す必要はありません」と言われています。コロナ下、学生への支援も話し合えません

でした。私はこの現状を大変遺憾で残念に思います。この発端は、改革が必要というところで学院執行部が実施した2014年、

ブレインアカデミーによる研修・教員大量解雇を2015年に批判したこと

にまでさかのぼります。この件は前濱谷会長が会誌で皆様にお知らせしました。

私自身もこれは学院の教育の危機と思いましたし、前会長の思いや同窓生による理事長退任を求めた、やむにやまれぬ署名活動の思いと一緒でした。

この年、会長になった私に、学院の改革を支持し、同窓会員の説得が会長の役目だと理事長から協力要請されましたが、市民を含めて2万人近くの署名があった状況で、先にすべきは学院からの説明や説得ですと

答えました。

このことが、会長は、同窓会は、学院に協力しないと言われることになったと思えますし、高校の制服変更の際に皆様にお知らせしたことも偏ったネガティブキャンペーンだと非難されました。

その後、理事長や学院長と面談する機会がある度に、協力できる点は話し合

いたいと伝え続けたと、自分では思っております。しかし、残念ながら学院執行部が同窓会を排除する傾向は強くなり、今は新会員獲得も思うようにはいきません。

学院理事長・学院長は、同窓会会費の代理徴収を4年前の新入生から取りやめとしました。コンプライアンスの問題だという説明でした。同窓会新会員になる予定の卒業生氏名・住所なども個人情報順守の立場から同窓会に提供できないとも言われています。

この流れの中で、代理徴収が既に実施されていた2019年度大学卒業生の個人情報・高校卒業生の個人情報開示を求めると、会長として、弁護士を通じて交渉することになりました。代理徴収をしていることは情報の提供が付随しているという法的立場を申し立てたということです。

総会開催ができませんでしたからこの申し立てに際しては、役員会・各支部長の同意を得るという方法を



とったうえでの措置でした。

2020年度卒業生についても同様にしましたが、今のところ、すべてではありませんが情報が開示されました。

しかしながら、2019年度・2020年度を合わせると同窓会入会を辞退する卒業生が、大学卒業生は200人近くいました。同窓会は強制力のある団体ではなく任意団体ですから本人の意思を尊重して会費の返金をいたしました。卒業生でありながら同窓生であることを辞退するという残念で不思議な状況が出ています。

また、代理徴収がなかった今年の高校卒業生では、入会の意思表示者は2名でした。返金作業はまだ硬直状態です。

以前は卒業する大学生・高校生を対象に卒業式前に同窓会入会式を行っており、そこで個人情報も得ていましたし、卒業生全員が同窓会に入会していました。コロナの影響で入会

式の開催が困難になったことも事態を悪化させました。

現在、学院からは、卒業式当日に機の準備(場所提供)の協力はするが他のことは特段の協力はしないとの通達を受けています。今年3月、同窓会事務局は、高校卒業生に関しては会費徴収があるので前もってのお知らせの配布もお願いいたしました。保護者宛封書はそのまま同窓会に返却されました。特段の協力はしないとのことのひとつの現れでした。また、学生・生徒入学時、同窓会入会のためのアピールの機会を下さるようお願いしました。同窓会は卒業してからのことだからと協力はいたしませんでした。

以上のように、現状は新会員確保がむつかしい状況になっております。会員確保には学院の協力が必要で、同窓会が充実することとは学院にとつても利点のあることだと考えますが、協力体制はできていない現状です。

臨時総会ではこの件についてもご意見をいただきました。と考えております。

同窓会は、ただ学院の決定や行動に黙し、唯々諸々と受け取り、支援するばかりのものではないと思っております。自分たちが受けた良い教育が、今の生徒学生たちにも受け継がれてほしいという母校に対する熱い思いから、意見を述べることは同窓生の役割のひとつだと思えます。

学院理事会に同窓会推薦の評議員を長く送り続けてきたのはその働きの為であったと思えます。

私は、多くのことが激しく変わる時代の趨勢を無視するわけではありませんし、改革の必要性を否定するものでもありません。コロナ下で、いち早くリモート授業がなされたことなど学院の努力には感謝いたします。地方の小さな私学を守る重責は大変なことだとも想像できます。

しかし、改革が急務だということだけで多くの犠牲を強いること、異なる意見

を聞こうとしないのは専横的・独善的で、人間教育を大事にしてきた梅光、教育の礎に聖書の教えを標榜する教育機関としての梅光の在り方としてふさわしくないと考えます。

役員会、事務局一同と共に悩みながら手立てを探っている状態です。皆様にも現状を理解していただき思います。

第21回梅光メモリアルデイに代えて

第五回メモリアルデイ説教

佐藤泰正



今日はこの記念すべき行事に、同窓生の皆様方と共に参加して、我々の先輩である多くの方々のこと

を祈りの中に覚え、また梅光の長い歴史を改めて思うことが出来ることを、ほんとうに嬉しく思います。最近いただいた同窓会誌37号に、同窓会の活動の様子が出ていますね。ウイーンの楽友協会ホールで演奏会をなさったんですね。そのあとの日程がまたすばらしいですね。ステファン教会での、イースター礼拝に参



加し、パイプオルガンの演奏、最後はハイドンのミサ曲、その余韻の残る中を、聖堂から出てくる高校生たちの顔が輝いていた。本物に出会った時人は変わる。今日は私はこれをモットーにしたい。「本物に出会った時、人は確かに変わる」。

梅光は地方にあるミッション・スクールです。「ミッション」とは「使命」ということですが、その大切な使命をもって困難な時代を生き続けている梅光は本物の学校であると、また、そうあらねばならないと思っております。

また、中国に行かれた方々のことも載っております。鉄嶺や大連で中国の方と一緒に歌ったという——国と国とのきしみが、ああだ、こうだと言われるけれども、人間のほんとうの祈りとか思いというものは、そういうものを越えてゆきますねえ。私は大変感動して読みました。

また、大社雅子さんの「青の恩寵の中に」では、カイザー・ウィルヘルム記念教

会に隣接する新教会のステンドグラスのことが書かれている。「青の教会」と言われ、ステンドグラスが青一色で、教会の中に入ると深い海の中にいる、あるいは青い空の中にいる、そういう体がそのまま包まれていくようなすばらしい感動を覚えた。自分は心が疲れた時、何かほんとうの癒しを感じるという語っておられた。そのステンドグラスを作った人が、ガブリエル・ロワール、フランスを代表する製作者です。その方の作品だと知った時に「ああ、そうか」と思った。そしてあの梅ヶ峠のマッケンジーホールにある、あのステンドグラスが実はこの同じ方の作品であるということ、改めて感動したと言われました。

常昭さんという日本を代表する、あるいは世界の説教学会の中心である先生を梅光にお招きした時、梅ヶ峠のホールに入るや否や、ぱつと見て「ああこれはフランスの青ですわねえ」とまだこちらからフランスとは言わなかった時に言われた。学生たちはこのホールで毎日礼拝をして、そのステンドグラスを通して注がれる光を浴びて……そのことはもう、心がほんとうに癒されて変わってくるんじゃないか、これはすばらしい体験になるんじゃないですかと言われた。このスタージェスホールの礼拝でもやはり、ステンドグラスが無言の中に語ってくれるものはすばらしいと思います。加藤常昭さんが「日本でステンドグラスのツアーなんてないけど、もしツアーをやったら、梅光のステンドグラスは日本の名物になるんじゃないか、五本の指に入るのではないか」と言われた。それほどすばらしいステンドグラスを、思いきって梅ヶ峠に、そし

てこのスタージェスホールにつけられたのは広津信二郎先生です。広津先生は「ほんもの」を求められた方です。だから梅ヶ峠のあのステンドグラスは相当のことです。先生は言われました。「あれ、高いからなあ、これをやったら、またいろんな人の批難じゃないけど、いろいろあるんじゃないか——」。私は言いました。「何をおっしゃるんですか。本物を備えておけば、何十年、何百年、残っていく。ですから思いきってやって下さい」。そこで先生は決断なさった。それが今、我々の前にある。梅ヶ峠で卒業した人たちはあれを心に深く刻んで卒業していったわけです。勿論、こちらのスタージェスホールのステンドグラスも同じですね。ここで毎日礼拝をしている学生たちの心の中にはそれが刻まれていると私は思うのです。

言いたいことは「本物」ということです。同窓会の方々も本物指向がありますねえ。ウィーンにも行かれるんだし、中国にも行かれる。スタインウェイのピアノも寄贈された。これらを通して私は心から同窓会のみなさんを応援したい。同時に同窓会の方々の思いがこちらに伝わってくる。私は、今、この二、三年の間に、同窓会とこの梅光学院が一体となつていてという熱い思いを感じる。たとえみなさんが、中・高の時代を丸山で過ごされて、必ずしもステンドグラスの光を浴びてはおられないとしても、実は見えざる形で神の光を心に浴びておられる。それが梅光の三年、六年、そういう生活ではなかったかと、今にして思うわけです。

広津信二郎先生のこと、今日は何といつても広津先生が亡くなられたこの日を記念の日と定めて、広津先生だけでなく、梅光のために殉じて逝かれた多くの方々のことを思い浮かべるその日でありますが、その中心に広津先生がおられる。先生がしみじみおつ



しゃったんですねえ。「僕が遺したのは、結局建物だけだったのかなあ」。なるほどなあと思いました。そこで私はすかさず申しました。「先生が遺されたものがどうして建物だけですか」。でも、建物だなあと言われた意味はわかりません。先生の美意識は大変なものです。この梅光は下関の美観、ひとつの美しい景勝として選ばれているんですが、レンガの色でも専門の人たちは、たくさんの色を組み合せて華やかなものにしようとすると、先生はズいぶん色を消していく。品位が大事だ、ただ華やかだけではない。先生は専門家顔負けの美意識をもっておられる方でした。

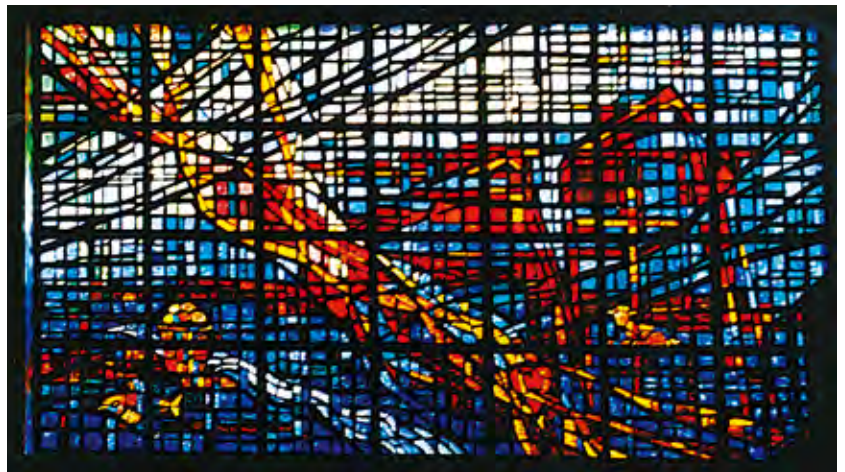
昭和26年、丸山の本建築が出来た。この時のヴォーリス建築事務所は、日本のキリスト教学校のいろんな建物を建てた所です。潮見さんというクリスチャンのすばらしい人が中心で、それを助けていられたのは、広津先生が建築の全責任を荷負って、先生は本物指向

ですから徹底的に建築の勉強をなさったんです。そういう力があってあのすばらしい本館や講堂が出来たわけです。自分が遺したものは建物かなあとおっしゃった。でもそれだけではない。根本にやっぱり先生の深い信仰と「梅光」に対する実たという思いが込められています。

ほんとうはご自分は学問がお好きなんです。早稲田で芭蕉とか、そういうものを研究したかった——それが梅光に來られたら院長ということになって、あの戦後の困難な時代に全責任をもつことになった。しかし先生は自分の学問は捨てられたが、「ほんとうの教師」を育てようとなさって国内留学を始められた。全国の中学、高校で国内留学に教師を送ったという学校はないんじゃないですか。各教科、この人はほんとうに勉強し、さらに優秀な教師になる、そういう所に目をつけられてどんどん送っていかれた。決して学校が豊かではない時代にそういう

うことをなさった。これはやっぱり広津先生の本物指向です。教師はたとえ中学・高校を教えても、しつかりした専門的な知識を持たなければいけない。私は学校を出て教師になる時に叔父が申しました。子供に教えるというのは十倍の知識を持たなければほんとうの教育は出来ない。これを肝に銘じています。その私自身が国内留学の第一号で行ってこいと言われた。昭和31年から一年間、母校の早稲田の大学院に行きました。私は戦中派です。私の仲間はずっと亡くなりました。その死んでいった仲間のことを思うと戦後の自分の人生ってものは余生だと思っていました。そんなカッコイイことを言うのはヨセと言われるかもしれないけれど、格好じゃないんです。ほんとにそう思います。だから私は学問は好きだったけれど、教師をしなから一冊か二冊の自分で満足のいくエッセイか評論、そういうものを書ければ、それで自分の文学に対す

る思いは満たされる。——そう思っています。そして広津先生が行ってこいと行つてくお土産の論文を書かなければいけない、そういうことだんだん研究指向になっていきました。私の今日の研究者としての自分があるのは、国内留学の第一号で行つてこ



“愛徳”



いと言われたことによるわけで、広津先生の、自分の学問は捨てても後輩を目にかけて生かそうという思いが我々の中に生きています。思うわけでありませぬ。

こうして梅光はやがて短大が出来、大学が出来ました。女子を教育するならばもっと高い教育をしたい、梅光でなければならぬ。梅光を作っていくという思いです。その根本はつまり、広津先生の学問と教育に対する熱い思いです。

梅光が大学を作った。二年後に博士課程まで作った。梅光が下関という所でやるんです。これは梅光が本物指向で立派な学問の府としての学校を作った。うということ、そのためには、必ずいぶん苦労した。良いスタッフを得るといっても大変でして、ある国立大学をやめられた頑固一徹な、自分はもう学校をやめたんだからどこにも行かないと言われる名物教授がい口説いて受けとめて下さら

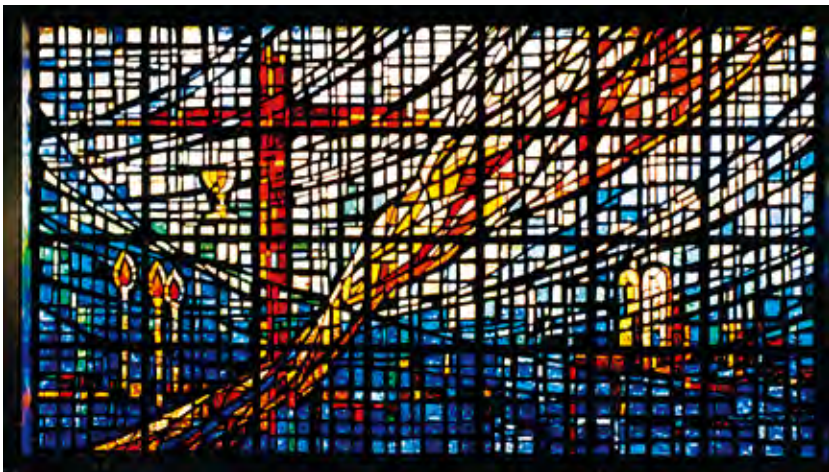
梅光に来て下さった。その先生が広津先生のことを感嘆して言われた。「丸山に来ると、あの本館の玄關脇の、玄關番がいるような部屋、ちっぽけな、あそこを院長が毎日毎日執務しておられる、その姿勢を見ただけで、ああ、これこそ本物の学校だ、そういうふうにした」と。

また、目加田さくを先生、女性の平安文学の代表的な研究者ですが、この方も同時に迎えることができたのですが、この先生も言われました。「教員会議の時に祈りをもって始まる学校、私は絶えてそういう経験はなかった。祈りをもって始まる会議でどうして自分本位の勝手な主張が出来ましょう。それだけでも梅光が本当のミッションの学校だということでしょう。」

こういうふうには外から来られた先生方が梅光の学問と同時に人間教育というか、そういうものを深く思っておられたことに思い到ります。同時に、私が体験したことは何かと言いま

すと、この山口県は維新の革命の源の一つでもあるけれども、それだけにやっぱり、官尊民卑というか、官を尊び民を卑しむ風潮がありますね。

ですから梅光という一つの私学がこういふ地方でやるというのは大変なことです。そういふ中で、広津先生は毅然として梅光の「志」を守ろうとされた。私は先生は闘われた方だと思ふ。私はよく「私学」は「志



“信仰”



“希望”



「学」であるというんですが、これは私のモットーです。広津先生も大変気に入られて「私学は志を持たなきやだめだ」と、いつも言われました。まさにその通りであります。

今、いろいろ梅光に迎えた先生方のことを申しましたが、ここに写真も並んでおります。そのひとり、森田兼吉先生は、学

長としては三代目、まる三年になりますか。梅光がこれだけ一生懸命にやっても、時の流れというか少子化というか、いろんなことで難しかった。その大変な時期を先生は支えてこられました。梅光はいつも第一級の先生をお喚びしますが、森田先生はまさにそれです。先生をお喚びする前に先ほどの今井源衛先生に念のためと思ってお聞きしました。「平安朝の女流日記文学の研究で第一級の方、誰れと思われませんか」。三人あげられた。その筆頭に森田先生のお名前があった。学者として最高ということ、実証的にアカデ

ミックに調べるだけではだめです。文学的な感性がなくてはだめです。森田先生はまさにその二つをもっておられることが、我々古典の専門家でない者が、先生の書かれたものや、いろいろな話を聞いていても伝わってききました。その森田先生が昨年亡くなられた。惜しいことです。

また、最近亡くなられた国分直一先生。日本を代表する考古学者南方熊楠という人の大きい賞があります。その賞をはじめ、いくつかの賞をもらわれました。この先生も梅光をほんとうに愛しておられた。実に梅光にふさわしい方です。先生の学問を受けた者が、先生の学問は単なるアカデミックじゃない、先生の考古学のお仕事はすごい。実に温かい学問だといふことを言っておりました。私も慕っております。私もまた先生のお人柄から、そのことに触れることができました。それからまた、国分先生

のお弟子で劉茂源先生、この先生もすばらしい人でした。中国語を長く教えられて、年度の終りにはいつも学生が中国語を暗誦してスピーチをやるんですね。私は毎年のようにそれに参加しました。先生がよくぞここまで指導されたなあと思

いました。中国語ってどうしてあんなにきれいなんでしょうか。特に女性のそれは耳に焼きつくものがありますねえ。学生は一生懸命に暗誦します。どっかで暗礁に乗り上げたら困るなと思いつながら聞いたものでした。そしてそのあと謝恩会のようなパーティーがあります。その時いつも先生は涙を流される。教えられた学生も涙を流す。手塩にかけるとはこういうことです。ね。これらの先生方は、梅光に他の大学や学校から入ってこられて、すっかり梅光にとけ込んですばらしい教育をなさったということです。

いろいろ古いことも申しましたが、ただ懐かしんで

先輩の方々のお働きと梅光の歴史を思うんでしようか。違います。最近私がよく使う言葉に哲学者のキェルケゴールの言葉があります。彼に「反復」という文章がある。彼の言う反復とは、昔のことを追想したりして懐かしむことではない。反復とは初めの生命、初源のいのちをつかんで未来へ打ち返すこと。これがキェルケゴールの言う反復です。勿論彼は聖書の言葉を指して言っているわけですが、初めの生命をつかんで未来に打ち返す。私が今日言ったことは過去を言っているではありません。先輩たちのすばらしい働きを思うことは、懐かしんでふり返るのではありませ

ん。そのことを未来に打ち返して、それを私どもが新たな光として生きていくということ、それがこのメモリアルデイの最高の、大事なことではないでしょうか。

梅光は地方にある小さな学校ですが、本物の学校として、このむずかしい時代

の中で本物の教育を託されている。それが梅光だ。そして我々の先輩の方々のご苦労もそこにあつたことを覚えていただきたい。そして何よりも私は、梅光を誇りに思っています。おそろしく同窓生のみなさんも、梅光に学んだことを誇りに思っておられるでしょう。みなさんの心の中にある梅光ということ、今日の話が終わりたいと思います。

(付記)

この文中で、明石に訪ねた方というのは、井上誠之助先生のことであり、先生は三年間梅光の大学院で教えられました。また、井上先生から戴いた高島北海ほかの貴重な書画は、井上文庫として、梅光学院大学博物館に所蔵されています。

(追付記)

文中の大学のステンドグラスは、丸山町の中高キャンパス「山田宏記念ホール」に移設されています。



2004年(平成16年)メモリアルデーに参加



2004年(平成16年)メモリアルデー(東駅キャンパス)

2020年度 2020年4月から2021年3月までの物故者名簿(43名)

御霊の上に、そしてご遺族の上に神様のお慰めのありますように。

旧職	末延允雄	2017.8.31	高4	岡野恵子(安田)	2019.10.5
旧職	星野久	2017頃	高4	富田多喜子(本田)	2015頃
旧職	末岡徹也	2020.2.13	高5	森数子(村中)	2020.2
梅23	清水公子(伊藤)	2020.10.8	高5	室井一子(小池)	2021.2.12
梅23	柿内君子	2020頃	高5	岡野瑛(寺田)	2020.1.10
梅24	小雲豊子(大木)	2018.12	高8	永谷律子(吉村)	2020.10.13
梅24	藤田智子	2019.7.26	高8	中島節子(吉田)	2020.4
梅24	三好むつみ(窪田)	2020.2.5	高10	野口幸枝(浜崎)	2019.12.4
梅26	伊藤光子(末広)	2018年頃	高12	岡田友弥子(中村)	2019.10.22
梅26	山田万里子(水谷)	2020.6.5	高14	西田和子(佐々木)	2019.6.24
梅28	小澤克子	2020.4	高14	伊藤敬子(今井)	2020.9.5
梅29	綾田愛子(寺田)	2017.11.29	高15	迫則子(向江)	2020.8.7
梅31	西田寿子(和田)	2019.12.25	高19	坂口萬里子(東)	2019.8.19
梅31B	直江多賀子(前田)	2020.10.1	高25(短日9)	栗田房子(下郷)	2018頃
梅34	貴船春美(野田)	2020.11.26	高25	松永まち子(村田)	2020.3.30
梅35	末次芳枝(伊藤)	2020.1.24	中1	藤重洋子	不明
高2	吉原美枝(河合)	2020.10.30	中3	越島俊子(東)	2019.9
高2	佐藤偕子(大塚)	不明	短英17	玉木雅美(後藤)	2007頃
高3	桐原浪子(平尾)	2020.5.19	大4英	森永裕子(本田)	2019.1
高3	大野まち子(力丸)	2021.1.20	大日4(高22)	林道子(中村)	2020.1.1
高3	田中公子(堅田)	2019頃	大日9	中島麗子(前山)	2017頃
高4	村上睦子(安光)	2020.2.7			

2021年(令和3年)8月30日発行

梅光学院同窓会

〒750-8511 下関市向洋町1-1-1

TEL/FAX 083-227-1111

編集発行人 片山宣子

同窓会 E-mail jimukyoku@baiko-dousoukai.jp

<http://baiko-dousoukai.jp/>

印刷 (株) 三和印刷社

〒752-0927 下関市長府扇町9-1

〈同窓会事務局開室〉

毎週火・金 13:00 ~ 16:00

TEL 083-227-1111

E-mail jimukyoku@baiko-dousoukai.jp

ホームページ

梅光学院同窓会

PC. スマートフォン対応



「梅花くすしく」が発刊されました。同窓会ホームページにも著書の許可を得て連載していません。発刊に際して、コメントが寄せられました。一部を紹介いたします。

『梅花くすしく』に寄せられたコメント

○渡辺憲司先生とは去る年、東京の自由学園で会いして先生の心の内に今も梅光への情愛が深く抱かれていますことに驚きました。(村田喜代子生)

○この本は皆さんにとって思い出というたくさんの宝物が詰った玉手箱ではないでしょうか。ページを開くたびにさまざまな出来ごとが蘇ってまいります。(今井夏彦先生)

○よき梅光を思い出し、それこそ梅光の根幹だと思います。(島田裕子先生)

生)

○今の梅光へのさまざまなメッセージが託されていることに胸が熱くなりました。大切にしたいものがこのご本の中にきちんととどめおかれていることに安堵の思いです。(村中李衣先生)

○私が着任したころの「梅光」は文学や教育への熱意があり、自由と思いやりがありました。教職員の方々が学生一人一人の名前と顔を覚えており、びつくりしました。

それは当然だったのかもしれない。学問に自由が必要なように、教育には愛情が必要だからです。

今こそ梅光の真価を新たに思い起こす時と感じております。(渡辺玄英先生)

『梅花くすしく』

○なんてステキな言の葉でしょう。(高23・ヒラタ)

○表紙もイラストも素敵ですね。(高13・シモカワ)

○母が「梅光」を我が身の一部のように愛し、深い思いを抱いていたのがよく理解できます。(高25・短英10・フジモト)

○知らなかったことや思いがけないこともあり、いろいろなことを思い出しながら読ませていただき

ました。(高13・マスイ)

○遠い昔の宝箱、感謝申し上げます。(高13・アイザワ)

『時に海を見よ』

○ツイッターで拝読。コピーして当時、家庭教師をしていた高校生に渡した記憶があります。(高13・タマダ)

『村田喜代子』

○長年続けていた読書サークルでとり上げていたので、梅光の客員教授になられたという報道を見た時には羨ましさを覚ええました。P5~11、とても参考になりました。(高13・ニイダ)

『金子みず』と今井先生のいきさつ』

○今さらながら驚きと、何だか嬉しさを感じます。(高13・ニイダ)

○息子が幼いころ、劇団若草に入っていて雅輔先生にはお世話になりました。(高13・タマダ)

○母がよく「ガスケさん、ガスケさん」と言っていたのを思い出します。(高13・マスイ)

『折々のことば』

○ずっと切り抜きを続けていますが改めてより深い



著者 権藤市津代 (旧木村) 高13
中高旧教諭(国語) 大学司書
題字 安富 恵子 (短・大 旧職)
梶間真壽美



思いに浸かりました。(高13・ニイダ)

♪チャペルチャント♪

○思わず声に出して歌ってしまいました。

○今もって口に出てきます。(高13・ニイダ)

♪コール梅光♪

○同窓会に出席して「コール梅光」のコーラス、すばらしかったのを覚えています。ハレルヤコーラスもなつかしく、不思議に覚えていて楽しく歌いました。(高13・フルタニ)

♪広津先生、佐藤先生、向山先生のこと♪

○佐藤泰正先生ご夫妻の晩年のご様子を知ることが出来感謝です。(高13・ニイダ)

○広津先生、佐藤先生の教えの下に学んだ卒業生はこの本を通し懐かしうい

つまでも母校を思い続けることが出来るような気がします。(高13・ナカムラ)

謹啓

寒い日が続いております。コロナ禍も続き、まるで薄氷を踏むような毎日が続いています。

不安な日々の中で、あたたかな心あたたまる御編著をいただきました。

心よりあつく御礼申し上げます。下関・梅光での日々は、私にとって学問・研究へ源泉だと感じていました。研究のみならず私の血肉の源であったと御編著を読み強く感じました。

又、小生のことをとりあげていただいたことも、思い出の記憶として望外の思いにて、心より感謝御礼申し上げます。

あらためて下関での思い出が浮き上がってきました。殊に、佐藤先生、向山先生のごことは、心にしみました。本書を読まれる方は、長く梅光の礎に御二人の大きな力のあったことを心に

とめることと思えます。梅光の未来の大きな糧となることであろうと確信します。

御二人の御苦勞に心よりの敬意を表します。

まことに、小さな宝物をいただいたような心持です。日々のいのりの中で本書を思い出すことと思えます。

いつの日かまた海峡の海を見に参じたいと思っております。

御身くれぐれも御自愛のこと、心より祈念致します。

敬具
渡辺 憲司

権藤市津代様
安富 恵子様

追伸 二月末に、小生が自由学園最長学部長ブログで取りあげた話題と、時に海を見よのの一部を再掲載した文庫本が角川より出版予定です。その本に、佐藤泰正先生の訃報に接した時のことを記し所収しました。刊行されましたら御送り致します。

追々伸
安富さん、向山さんのこと何も知りませんでした。アメリカでの苦勞話は庭でよく聞きました。あらためて先生への尊敬の思いを強くしました。文教台のこと家内と一緒に読みました。思い出に二人共胸がくれぐれもよろしくお伝え

追々伸
安富さん、向山さんのこと何も知りませんでした。アメリカでの苦勞話は庭でよく聞きました。あらためて先生への尊敬の思いを強くしました。文教台のこと家内と一緒に読みました。思い出に二人共胸がくれぐれもよろしくお伝え

『梅花くすしく』正誤表

P 31 おわりから2行め

「源氏シンポジウム」(誤)

「平家シンポジウム」(正)

P 64 一行め

「二〇〇四年、梅光短大廃止にともない

二行め 東駅に移行した。」

までを削除

追加

二〇〇二年七月、広津信二郎先生、マッケンジー先生の追悼会が開かれた折、梅ヶ峠キャンパスの廃止を知らされ、その年のクリスマスに梅ヶ峠でハレルヤコーラスを歌おうと有志が立ち上がったことがはじまりである。



卒業生は現在

当番幹事になって

ーハンドベルの仲間達ー

杉野 かおり
(高4)

梅光学院同窓会誌に私の文章を載せてもらえる日が来るなんて：何て光栄なことでしょう。「家が北九州で、遠くに行きそうにないなら幹事になって。」と言われ、二つ返事で引き受けた「幹事」のおかげで、作文の苦手な私にとっては大変ですが、貴重な機会を与えていただきました。

幹事。「いつのこと？」という感じでしたが、いつの間にか幹事の年になり、身体にも老化現象を感じ始め、健康に気を付けなければならぬようになってきました。すると、お世話になった先生方にもお会いしたくなり、ずっと会っていない友達や、連絡を取り合っ

ていない友達にも連絡したくなります。ちょうどそういう時期に当番幹事になるようになってるのでしょいか？とてもジャストなタイミングです。

昨年、幹事見習いとしてお手伝いに入りました。先輩方は段取りよく準備を進めており、「私は来年このように出来るのだろうか。」と思っていた矢先、コロナのため、同窓会総会・懇親会が中止となり、心を込めて準備した先生方へのお誘いのお手紙も出せなくなりました。先輩方の思いを少しでも引き継いで、今年度の会を盛り上げたいと思っていました。またもや中止となってしまいました。

同窓会HPに載せて頂いていますが、私がBell Felice (OG・OB会)のメンバーであり、幹事仲間の宇田さんが高校ハンドベル部で一緒だったことで、総会の礼拝の奏楽をさせて頂くことになっていました。宇田さんの30年ぶりにベルをする勇氣と上手さに驚きながら、高校時代ハンドベ

ル部が韓国の姉妹校に演奏に行きホームステイをしたことなど、思い出話もすることが出来ました。すると、中学の入学式で初めて聴いたハンドベルの音色に魅了され、ハンドベル部に入ろうと決心したこと、母が必ず行事を見に来てくれたこと、遅刻しそうな時父を起こし送ってもらったこと、高校ハンドベル部が「はなきんデータランド」というテレビ番組に出たことや安富先生とのスキー研修など、中高大の色々な出来事が走馬灯のように思い出されました。

大学卒業後はOG会を作り、練習の時にはよく吉岡先生にお会いしました。哲学のお話もしてくださいました。今思うと何て贅沢なことでしょう。先生は私が小学館ホームパルで英語講師をしながら中学校で非常勤講師をしていることを伝えると「自分の教室を持つたら良い。ずっと関わって育てていくことが出来る。面白いよ。」とアドバイスをしていただきました。今私

は自宅教室を開き、幼稚園でも指導しています。年中から11年間通ってくれる生徒もいて、子ども達の成長を見ることが出来、とても充実しています。

また先程のOG会はメンバーの結婚や仕事などで自然消滅してしまいました。6年前新たに立ち上げられたBell Felice に入ってもらい、メンバーにも恵まれ、今では自分の子どもと同年位の仲間と楽しくベルをし、若いパワーをもらっています。また中山先生には指揮をお願いし、多



教会でのBell Feliceコンサート

大なるパワーを頂き感謝しています。ハンドベルフェスティバル、ウエルズラグビーチームのウエルカムパーティー、コンサート、施設などで、色々な所で演奏させていただき嬉しい限りです。今はこの状況で思うように練習も出来ませんが、次回の演奏会を心待ちにしています。

私の思い出や近況を書かせていただきましたが、中学から私の人生の3/4に梅光は寄り添ってくれています。梅光ファミリーの一員であることを誇りに思います。私は梅光が大好きです。梅光で教えていただいたこと、培ってきたこと全てが、私を進むべき道に導いてくれています。

梅光・梅光に関わる全ての皆様、本当にありがとうございます。そしてこれからもよろしく願っています。来年は梅光学院同窓会・懇親会が開催され、皆様にお会いできますことを楽しみにしております。



梅光で学んだこと

滝本 あい子
(高31・大13英)

梅光を卒業して初めて仕事をしたのは、当時「更生施設」と呼ばれていた、障がいがある女性の寮でした。労働に明け暮れ、報酬もなく、自由もない寮生活をする当事者と暮らして、施設の方針に疑問を持ちました。が、改善されることはありませんでした。ある日、男子寮の青年が寮を逃げ出し、職員に連れ戻された末に鎖でつながれました。あまりのことに数人の職員で外部に助けを求めましたが、解雇に近い形でやめることになりました。その時に寮で出会った障がいのある女性たちは、それぞれに個性が輝いて魅力的でした。彼女たちから離れてしまったことを後悔する気持ちがあり、「施設」の枠の外側で、一緒に何かをする方法がないか探してきたように思います。

障がい者がゆるくつながって、お互いに情報交換したり、楽しんだり、学び合ったり、理不尽なことがある時には行動するというネットワークの働きに、仕事をしながら関りました。その間に、家族の学びのためドイツに滞在することになり、「さて私自身は何をすればよいのか」と考え、以前から好きだった園芸を、職業として学ぶ学校に行きました。2年間の修行のあと、多年草のガーデンとして働き、その後日本に帰ってから園芸療法を学びました。修了後は高齢者のホームで花や野菜を育て、花壇の手入れをし、公園へ散歩に出かけ、冬は押し花やドライフラワーを使ったりクラフトを楽しむ園芸療法の時間を担当しました。

園芸療法は植物や庭などの環境を使って、心と体を動かす、心身の回復に活かします。植物の静かな生命力に力をもらって、季節の移り変わりを知り、他の人々と関わりながら作業し、期待や喜び、責任感や自信、他の人々との共感を得て、その人らしく豊かに生きることを目指す方法です。現在の日本では保育園・幼稚園や学校、フリースクール、地域活動、社会福祉施設、高齢者施設や介護の場、病院、ホスピス、就労支援などで取り入れられています。認知度はまだ高くありませんが、いろいろな場所で園芸療法が用いられ、植物を通して人と人が豊かにつながっていくことを願って、園芸療法士たちは働いています。



6月 ジャガイモの収穫(デイサービスにて)

園芸療法による時間を一緒に過ごして、笑い合ったお年寄りが、次に伺った時にはすでに旅立られていたと知る時があります。育てた藍を使って藍染めをしたり、作った野菜でピザや小松菜のお団子を作りました。香り高いラベンダーのサシェ作りも毎年恒例でした。「花を見るとせいせいする、楽しかった」と話し、人生を語ってくれたお年寄りに、私の人生も豊かにされたい。梅光を卒業して40年になります。梅光で過ごした日々は、これまでの私の歩みを支えてくれました。毎朝の礼拝で語られた聖書のことば、友と歌った讃美歌は、これまでの人生の歩みの中に、いつもどこかで一緒にありました。

私の思いを超えて、だいじょうぶ、心配しないでいい、そのまま歩いていけばいいと言ってくれる存在が、もしかするとあるのかもしれないという安心感、時に絶望することがあっても、いや、まだなんとかなるかもしれないという「根拠のない楽観性」を持てたことも、梅光で繰り返し語られた言葉と歌った歌があったからだと思います。当時の先生方が生徒たちのために祈り続けた祈りに、今も守られていると思えることを有難く思っています。



6月 梅仕事(特別養護老人ホームにて)

(照会先)「NPO法人 日本園芸療法研修会」
神奈川県横浜市泉区中田西1-11-1
Tel 045-805-3663



コロナ禍の楽しみ

福富(中村) 智美
(高28・短日12)

皆様コロナ禍、いかがお過ごしでしょうか。

昨年始めから世界中に蔓延した未知のウイルスによつて、私達の当たり前の日常が一変しました。会いたい人に自由に会えない、行きたい場所にも行けない、自粛生活が続く日々です。

そんなコロナ禍に私が励んでいるのがマスク作りです。いろいろな型のマスクを作つて、回りの人達にプレゼントして配つて、喜んでもらっています。下関の実家が探し出した布地で「これはマスクに、こっちはエコバックに」と母や妹と協力して作るのが楽しい時間です。勿論家では一人でも作るけれど、実家だと会話が弾んで、自然と笑顔になります。

今年は実家の梅仕事の手に伝いに招集され、梅の収穫・

洗浄後、梅干し、梅酒、カリカリ青梅、甘酢漬けなどに取り組みました。梅もぎははじめてで、虫刺されに悩まされましたが、この年になってからののはじめての体験は、大変だけれど楽しかったです。

普段の私は読書好きで、韓国ドラマを観たり、夫婦で週2回行く温泉でのんびりしたりして過ごしています。また、実家で実る橙でマーマレード、梅ジャム、近所で頂く杏でアプリコットジャム、秋は栗の渋皮煮など、季節ごと、手間隙かけて作つて、配っています。皆が喜んでくれるので、私も充実した気持ちで取り組んでいます。

でも私のそういう、どちらかというといんどアな趣味、ミシン遊び(息子達にそっくりな孫娘達のスタイや洋服作り+マスクやエコバック作り)やジャム作りは、コロナ禍の自粛生活で始まった訳ではありません。きっとコロナでなくても同じように過ごしている日常だと思います。

それでもコロナが収束したら、海外旅行へ行く夢を抱いています。旅行は行く前の準備段階も、旅行中も、帰つてからも楽しいからです。いつか必ず学生時代の友人や妹と大好きなヨーロッパへ行こうと思つてます。私達もやつとゆとり

のある時間が持てるような年になったのだから。夢はみるだけでなく、叶えられらしの中で、健康に気をつけて過ごしていきたいです。皆様の今日が幸せでありますように祈っております。

第36回ソフトボール部OG会開催のご案内

幹事 長尾(藤井) 恵子
(高31)

昨年は、久しぶりの幹事ということに張り切っていました。コロナ禍で開催することができませんでしたが、コロナワクチン接種も始まり、少しずつ終息に向かい始めています。

しかしながらコロナウイルスも変異しているようなので、今年の開催も心配ではありませんが、OG会が開催できることをただただ祈る

ばかりです。ご案内が行き届かない面もありますので、今まで参加されていない方、お気軽にご連絡、ご参加ください。すぐにソフトボール部員に戻れます。多数のご参加をお待ちしています。宜しくお願い致します。

この度は、報告内容がありませんので、片山先生より、近況でもよいと言われまして、少し私事を書かせていただきます。

私は、印刷会社育ちの山口県の西の端の下関から山

口県の東の端の大島郡周防大島町に1985年に嫁ぎ、下関生活年数をはるかに超え、今ではすっかり周防大島人間になりました。テレビでも紹介されたので人気が出ています。移住の方も増えていきます。民家に泊まろう体験型修学旅行(民泊といいますが)の受け入れ家庭もして、東京や群馬、大阪などから来て大島体験を楽しんだ時期もありました。1泊か2泊なのですが、帰る時にはほとんどの子どもたちが泣いています。泊つた子どもたちは、口をそろえた大島は最高、楽しかったと言つて帰つて行きます。周防大島はとて住みやすく、人間らしい生活。自然と共にある生活。島民の手作りの島と思つています。周防大島町は金魚の形をしていて、私は金魚のお腹あたりの西安下庄に住んでいます。神社と保育園をしています。嫁いですぐに神職の資格を取得し、平成26年に7年間挑戦し続け何とか保育士資格を取得。元気な子どもたちは、毎日カ



二とりに夢中です。余談ですが、周防大島に嫁いだ頃、家の中をカニが歩いていてのには、本当に驚きました。今私は職員とともに、子どもたちのために最善を尽くし、養護教育に日々努めています。コロナ禍が落ち着いたら、一度おいでください。そしてお気軽にご連絡をください。周防大島をご案内いたします。周防大島のマイブームは、店名はないだ織でさおり織です。

大島に来られたら、はた織り機で、世界に一つの自分だけのさおり織物もぜひ体験してみませんか。最後になりましたが、梅光学院同窓会長が、ソフトボール部の平良美代先輩から教員でもあり先輩でもある梶間眞壽美先生、そして現会長で、顧問だった片山宣子先生は、心強い存在です。また梅光学院同窓会関西支部設立世話人代表福田(滝本)信子さんもまた後輩に

開催日 令和3年10月2日(土) *毎年10月の第1土曜日となっています。

案内時期 8月下旬

開催場所 未定

開催時間 10時30分頃

幹事 高31 倉光(岡崎)真理子
吉岡(大草)文
長尾(藤井)恵子(代表幹事)
連絡先 090-7998-0492

*ソフトボール部OG会の皆様、上記の携帯番号を登録してくださると嬉しいのです。ラインで繋がれば、今後の連絡もし易くなると思いますので、ご賛同いただける方は、どうぞ登録をよろしく願いいたします。

なります。ソフトボール部OG会が途絶えることなく35回までバトンをつないで下さった先輩・後輩の方々に感謝いたします。私も次にバトンを渡せるように致します。梅光学院同窓会のホームページも見て下さい。OGの方も掲載しておられます。



クリスマス礼拝

コール梅光 岡村 映子(短日6)

二〇二〇年のコール梅光は、新型コロナウイルスの感染予防のため、三月より練習を停止することになりました。

二〇周年の話も出ていた矢先にこの様なことになり、全ての出演がなくなっていました。

会員の皆さんはどのような過ごされているかも知れなくなりましたが、そんな中、大塚さんの発案でそれぞれの近況を綴ったノートが回され、貼られた写真や、描かれたイラストを見ながらお互いの様子を知ることができました。

この様な状況ではありましたが、コール梅光としてクリスマス礼拝だけでもやっつては、ということになり、一二月一〇日に生涯学習プラザ「宙のホール」で、片山同窓会長をお迎えして会員だけの集いを行います。

た。

事前の練習もできず、長時間の集まりもできませんでしたが、前奏・聖書朗読・讃美歌・主の祈りと静かに会は進みました。

お休みの間に、発足当初からの会員の貴船はるみさんと、桐原浪子さんが逝去されました。

澄川先生がお二人を偲び、フォーレのレクイエムより「ピエ・イエズ」を歌われました。

先生の歌声を聞きながら、お二人のご冥福を祈りました。

本当に小さな集いではありましたが、改めてコール梅光として心をひとつにできた良い会でした。





支部だより

東京支部

報告

飯沼菜保美(高21)

本格的な夏を迎え、例年ならば猛暑の中でも活発に動いているはずでした。

しかしながら、基本的には外出を自粛して「おうち時間」を少しでも前向きに送れるように工夫している毎日が続いています。

さて、東京支部では昨年の総会を通常よりも遅い開催で予定しておりました。そのため、準備を進めるために運営委員会を三月に持つことになっていました。ところが、その頃から新型コロナウイルスの感染が拡大して運営委員が集まることができなくなりました。それ以来、総会や運営委員会を開くこともなく現在に至っております。

今は東京オリピックの

開幕が間近に迫っています。が、首都圏の一都三県では、連日、新規感染者数が増加の一途を辿り、今後、どのようなになるのか案じています。

それでも毎年会員に送っています支部だよりを発行して、昨年は恩師の先生方と同窓生からのメッセージをお届けしました。今年も総会中止のお知らせとともに支部の皆様には近況報告などのメッセージを返信

はがき、あるいはメールで送っていたべくようお願いしました。徐々にお便りが届いているところです。短いメッセージですが、その行間からも伝統ある梅光の

気質が感じられます。どのような苦境でも自分を見失わずポジティブに生きておられ、改めて梅光で受けた教育がいかに素晴らしかったのかを知らされているところ。私も学生の時は自覚していませんでしたが、卒業して年月を経て、梅光で教わったものは学問的なものだけではなく自分が今ある人格形成にとってとて

も大切なものだったと感じています。そして、これからの母校も同じように充実した教育を根幹として発展して欲しいと願わずにいら

れません。会誌がお手元に届けられる頃には感染状況がよい方向に向かい、今の心配が杞憂でありますよう念じております。

また、東京支部の皆様にはこの場をお借りして思うように活動ができないことにご理解をいただきますようお願い申し上げます。どうぞお体に気をつけてお過ごしくださいませ。

関西支部

笑顔の再会を

心待ちにしています

福田 信子(高33)

関西支部設立のご案内葉書をお送りしてから、早1年が経ちました。

大阪・兵庫は今年に入つて2回、京都には1回の緊

急事態宣言が発令され、現在も飲食店の時短営業や会食の人数制限、土日の施設利用制限などが続いています。

「集う」ことが難しい状況下ではせつかく立ち上げた支部の活動も進まず、延期となっている第1回総会・懇親会も開催の目途が立つておりませんが、こんな時こそ同窓生の絆を深める取り組みが何かできないかと思案する日々です。

ひと口に「関西」と言っても、近畿地方2府5県(京都、大阪、滋賀、兵庫、奈良、和歌山、三重)を含む広いエリアですので、一人でも多くの方に参加していただくためには各地域での活動が必要だと考えています。新型コロナウイルスが

終息して移動や会食の制限がなくなれば、年1回の総会・懇親会とは別に、各地での同窓会イベントも企画したいと思っています。その際にはぜひご参加ください。

外出や旅行の自粛が続くこの一年余は辛く長いよう

に感じる反面、思い出に残る出来事が少ないせいかわかたようにも思えます。いまだ先の見えない不安な日々が続いていますが、ワクワクン接種も徐々に進みはじめ、いろいろなお知らせが再開できる兆しが見えてきたのではないのでしょうか。

来年こそは関西支部の活動がスタートできるよう祈りながら、諸々準備を進めていきたいと思えます。みなさまの近況やご意見等ございましたら、ぜひお知らせください。

下関支部からの報告

2020年12月20日(日曜)

晴れ

下関支部のクリスマス礼拝と茶話会を2部形式で、午前の部9名、午後の部14名とスタッフ4名で、下関市立近代先人顕彰館(田中絹代文化会館)にて行いました。

クリスマス礼拝は厳かに、



そして後半の茶話会では参加者全員がハンドベルで、「きよしこの夜」を演奏し楽しく歌い、学生時代に戻ったような気持ちで心を一つにし、大いに盛り上がりました。ご参加ご協力下さった皆様に心より感謝申し上げます。



下関支部の今年の今後の活動として、萩バスツアーとクリスマス礼拝&茶話会を計画しております。支部役員一同、皆様のご

参加お待ちしております。

地球上で猛威を振るっている新型コロナウイルスでさえ、私達同窓生の心の絆を断ち切ることはできません。

世界は、政治・経済・社会制度等の大きな変革の時期に来て、保守主義、自国主義になりつつあります。しかし私達は自分の欲を捨て、全体を見通し「ひかりの子」らしく変革を恐れることなく、困難に立ち向かい、新しいことに挑戦し続けたいと思っております。皆様今後ともお力添えの程、何卒よろしくお願い致します。

「今から20年後あなたはやったことよりも、やらなかったことを悔やむことになるだろう。そうなる前に安穩とした港から船をだせ。自分自身の帆で貿易風を受け止めよ。真に求める物を探求し、叶う事を願い、見出すのだ。」

(マーク・トゥエイン)

下関支部役員

胡井 咲子 記

福岡支部

コロナに思うこと

福岡支部 中田 早苗 (高28)

昨年の世界的なコロナ感

染により、こちら福岡は県内全体、市内では緊急事態宣言、まん延防止対策と交互に発出され、日常生活に大きな影響がみられます。一昨年の活動再開から、これからという時に一堂に会しての会合は三蜜を避ける

ため残念ながら行えず、役員はじめ篤志の方々ともメールや、SNSを利用して連絡を取り、情報を交換している次第です。こうしてみると、通信手段は以前より豊富になり、対面に頼らずとも近況を確認できる事は嬉しい限りです。写真のみならず、動画を手軽に楽しめるのも時代の恩恵に与かっていると実感しております。

明るい事柄の少ない中でも、昨年のある日、同期の同窓生より一通のメールが届きました。そこには通勤途中の地下鉄駅に飾られた博多人形の写真が添えられていました。あの懐かしい制服に身を包み、キャン



博多人形



ルサービズを行おうとする姿こそは、どんな時も私たちは光の中にあり、その光は行く道を照らしてください。のだと深く感謝と希望に満ちたものでした。思うことや考えることが異なると何故、道を違えなければならぬのか、互いを認め合

い、たとえ相容れないもの同士でも、「光の子」として手を取り合える、それが同窓として担う役目ではないでしょうか。たとい、死の陰の谷を歩くことがあるとも、私はわざわいを恐れません。

あなたが私とともにおられますから。あなたのむちと、あなたの杖、それが私の慰めです。私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、私の頭に油を注いでください。私の杯は、あふれています。

まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来ましょう。私は、いつまでも、主の

家に住まいましよう
(新約聖書 詩篇 第二三編 抜粋)

今だからこそ、私たちは一つになる努力を重ねたいと願って止みません。世界中の同窓生に、もし、フェイスブックをご覧になれるなら、『梅光学院 同窓会 福岡支部』のページに近況など何でも構いません、お知らせをお待ちしております。そして、一日も早く皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

北九州支部

感謝とお願い

北九州支部 森田 朋子 (高11)

北九州支部会は当時の同窓会会長梶間眞壽美様の、下関に次ぐ同窓生の多い北九州市に是非支部を立ち上げたいという熱意に動かされての事でした。そして良き協力者になって下さる方

をと、力丸徳子様(高8回)をご紹介して下さいました。会員名簿では北九州に籍を置かれていらっしゃる方は3千人を優に超えていました。力丸様と二人で名簿を何度もめぐり返し、協力して下さい

れそんな方をピックアップし、往復はがきの案内状を送る一〇〇名の方を選びました。一方自分達の学年の親しい方に呼び掛けて準備委員会の輪を広げようと高8回と高11回生7、8人で月に一度喫茶店でランチをしながら、梅光時代の思い出話に楽しいひと時を過ごしました。



発会式①

期を余儀なくされました。ようやくその年の10月20日(土) 本部からは梶間同窓会長、学院側から岡崎新太郎学院長、田中雅弘中学校長の御臨席を得て北九州支部発会式が開催されました。当時の写真を添付致します。①(こちらの不手際で撮影前に帰られたかたもおられるようです。)

その会場で高16回生3名の方に支部会の運営に加わって頂きたくご協力をお願いしました。

第1回2008年北九州支部昼食会参加者の写真を添付致します。②

いよいよ機が熟したと、本部や学院側にも連絡し準備万端整えた、2007年7月14日の発会式の前日、台風が関門地区を襲い会場レディース門も閉鎖となり式の延期を余儀なくされました。2018年の暮、天に召されました。毎回、会の案内状の送付、会場の設定、受付等で皆様をおもてなしして下さいました高16回生の美女三人組も後期高齢者となりました。私も大腸、胃、



2008年の昼食会②

卵巣等大きな手術して持ちこたえて来ましたが80歳となりました。これまでの皆様の御支えを心より感謝致しております。

そろそろ支部長や幹事の方々の交代お願いしたいと思いますが、如何なものでしょうか。自薦でも他薦もかまいません。本部にも相談しております。よろしくお願い致します。支部長は

特別な条件は要りませんが、この時代はやはりパソコンのワード程度がお出来になる方が望ましいと思います。お仕事をもちの方でも大丈夫です。殆どテレワークとなりまして、一番心配していたら、つしやる信仰は問う必要はないと思います。梅光で学生時代送られた事が、又母校梅光を愛して下さる事が最も大切な条件だと思えます。

どなたでもお出来になると思えます。足りない所は必ず神様が備えて下さいます。

末筆になりましたが、来年コロナ禍が安定し、支部昼食会が開ける様になりましたら、これまで通り私共が準備致しますのでどうぞお誘い合わせの上ご出席下さいませ、お待ちしております。まずは感謝とお願いで。

長崎支部の状況

長崎支部長 森田美智子
(大9日)

よって、皆さんからのアンケートにご意見をお願いする。5月に支部通信「のぞみ」を発行し、ご意見を集めているところですよ。

〈皆さんのご意見から〉

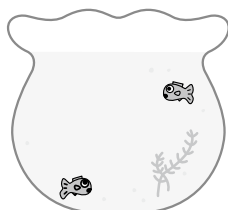
- ・ 役員3名のかた方、ご苦労でございますが是非続けてくださいませか。
- ・ ご意見の欄に、会員の居住地区で、歴史のあるところや、美しい景色、お祭りなど、知らないことが沢山あるので、学びたい。

それが可能な体制を続けていって欲しい。

- ・ 会報を頂いたり、旅行の案内を頂くと「繋がっているなあ」と実感の得られる嬉しい2年間でした。
- ・ ワクチン接種ができて終息を迎えた折には、皆様と顔を合わせ心を繋いで行けたらと思います。講師を迎えての勉強会など要望します。

以上のように、皆さんやっぱり【同窓会で繋がりたい】という気持ちがおありになりました。再度役員会を持って、今後の方針について見極めていきたいと思えます。

- ① コロナの収束がはつきりするまで、支部総会を開催できない。
- ② 総会や活動ができないので、本年度の会費徴収は行わない。
- ③ 当面の活動は会報発行による情報提供を行う。規約により、本年度は役員改選の年に当たるが、会員の皆様の意見をアンケートで頂き、それによって新しい役員体制も考えていく。





令和2(2020)年度会計報告

科 目	2020年度予算	2020年度決算	差 異
収入の部			
終身会費取崩し	8,181,000	4,370,170	-3,810,830
繰入収入			
入金	724,000	488,000	-236,000
总会・懇親会費	525,000	-45,000	-570,000
受取利息	80,000	68,023	-11,977
施設利用料	10,000	0	-10,000
運営費収入	3,000,000	1,221,420	-1,778,580
雑収入	100,000	38,369	-61,631
収入計	12,620,000	6,140,982	-6,479,018
支出の部			
事務費	400,000	245,661	-154,339
事務手当費	1,700,000	1,331,600	-368,400
旅費	200,000	215,650	15,650
通信費	2,000,000	1,873,241	-126,759
印刷費	6,000,000	1,947,147	-4,052,853
行事・集会費	1,000,000	167,500	-832,500
交際慶弔費	200,000	35,235	-164,765
雑費	50,000	3,971	-46,029
光熱水費	70,000	40,977	-29,023
教育支援寄附	500,000	0	-500,000
支部支援金	300,000	100,000	-200,000
グッズ製作費	200,000	0	-200,000
支払報酬費	0	180,000	180,000
支出計	12,620,000	6,140,982	-6,479,018

貸借対照表

令和3年3月31日

現金	325,273	終身会費	80,875,910
預金	84,970,811	終身会費引当積立金	4,420,174
	85,296,084		85,296,084

上記令和2(2020)年度決算及び貸借対照表の会計監査に関して帳簿・証憑書類等を監査いたしました。記載事項は事実に基づいており適正であることを認めます。

同窓会監査人

梅尾 澄枝





令和3(2021)年度会計予算案

科 目	2020年度予算案	2021年度予算案	差 異
収入の部			
終身会費取崩し	8,181,000	6,350,000	-1,831,000
繰入収入			
入金	724,000	348,000	-376,000
総会懇親会会費	525,000	0	-525,000
受取利息	80,000	32,000	-48,000
施設利用料	10,000	10,000	0
運営費収入	3,000,000	3,000,000	0
雑収入	100,000	100,000	0
収入計	12,620,000	9,840,000	-2,780,000
支出の部			
事務費	400,000	480,000	80,000
事務手当費	1,700,000	1,700,000	0
旅費	200,000	200,000	0
通信費	2,000,000	2,000,000	0
印刷費	6,000,000	3,000,000	-3,000,000
行事・集会費	1,000,000	600,000	-400,000
交際慶弔費	200,000	200,000	0
雑費	50,000	50,000	0
光熱水費	70,000	70,000	0
リース費	0	140,000	140,000
支払報酬費	0	400,000	400,000
教育支援寄附金	500,000	500,000	0
支部支援金	300,000	300,000	0
グッズ製作費	200,000	200,000	0
支出計	12,620,000	9,840,000	-2,780,000



* 2020年度(令和2年度)行事報告*

2020年

- 4月18日 役員会
 4月28日 会計監査 梅尾澄枝
 5月15日 2020年度 総会中止のお知らせを山口新聞に掲載
 5月16日 役員会(新型コロナ感染拡大防止のため中止)
 6月5日 梅光誌52号発行 20700部
 6月20日 役員会
 同窓会総会(新型コロナ感染拡大防止のため中止)
 7月4日 メモリアルデー(新型コロナ感染拡大防止のため中止)
 7月18日 役員会(新型コロナ感染拡大防止のため中止)
 8月22日 役員会
 9月19日 役員会
 10月17日 役員会
 11月21日 役員会
 12月4日 80歳(高11)以上の方へクリスマスカード発送 1,259通 (内、海外3通)
 12月10日 コール梅光 クリスマス礼拝・チャリティーコンサート(新型コロナ感染拡大防止のため中止)
 12月10日 コール梅光の集い ミニクリスマス礼拝 [下関生涯学習プラザ 宙のホール] 14:00~15:00
 12月5日 役員会・支部長会合同会 [シーモールパレス] 13:00~16:00
 出席者20名・・・役員4名、事務局7名
 東京支部1名、関西支部1名、福岡支部1名、北九州支部2名
 長崎支部1名、下関支部2名、豊北支部1名
 ゲスト・・・弁護士2名

2021年

- 1月16日 役員会(新型コロナ感染拡大防止のため中止)
 2月20日 役員会
 3月13日 中学・高校卒業式 (片山、磯谷、畠中参加)
 高校卒業生に卒業記念品と同窓会からのお知らせを配布。
 卒業式には参列なし。
 3月13日 大学学位授与式
 新型コロナウィルス感染拡大防止のため、中・高・大学の卒業式は簡素化。
 来賓・同窓会の臨席なし。卒業記念品を学院から配布してもらう。
 3月27日 役員会

						2020年度 運営費寄付者名		単位千円	
高3	上垣内照子(上垣内)	3	梅34	福田百合子(山本)	3	旧職	宮本幸治	3	
高3	安田美智子(平野)	3	梅35	木澤玲子	3	旧職	小山禎子	3	
高5	三代 緑(一色)	3	中3	山崎千秀子(朝本)	15	旧職	中野節子	3	
高5	北村勝代(大瀨)	3	中4	堀田道子(下村)	9	旧職	岩本康子	9	
高5	室井一子(小池)	3	中4	鈴木真貴子(杉山)	3	旧職	中山 敦	3	
高5	勝岡光子(墨崎)	3	中4	山名しづか(樽見)	3	旧職	平野 清	3	
高5	平良美代(平良)	100	中11	岩田美代子(石川)	6	旧職	西田 昇	3	
高5	本田節子(中川)	6	高2	吉原美枝(故)(河合)ご遺族様より	10	旧職	安富恵子	3	
高5	永露道子(横井)	10	高2	勝目良枝(住田)	3	旧職	吉岡正宏	3	
高5	小野華子(吉村)	3	高2	岡田佳津(原田)	3	梅23	清水公子(伊藤)	3	
高6	四本洋子(小川)	3	高2	小須田玲子(藤津)	3	梅31 B	阿部敬子(富田)	3	
高6	塩原栄子(川崎)	3	高2	内山ナミ子(三宅)	3	梅31 B	青木信子(名古屋)	3	
							旧職	河田 修	3
							旧職	卷幡清子	3
							旧職	竹内正代	3
							旧職	斎藤直而	3
							旧職	白澤千枝子	3
							合計	1,221,420円	



大10英	井上容子	10	短日8	宮崎悦子(渡辺)	3	高23	高田るみ子(永松)	3	高6	浜田陽子(豊田)	3
大10英	城下弘子(中川)	3	短日9	山口しのぶ(大坪)	3	高24	村田小夜子(今橋)	3	高6	大和明美(中尾)	6
大11日	井上京子(山本)	3	短日10	松田静子(川村)	3	高24	城一道子	3	高6	山本壽美江(山村)	3
大12日	植田裕子	3	短日12	五輪喜久子	3	高24	古本圭子(唯岡)	3	高7	澤 宏子(青木)	3
大12日	尾畑ゆかり(木村)	3	短英13	大長美子(長尾)	3	高25	日野原静子(楠)	3	高7	今津敏子	3
大13日	三浦美香子(武石)	3	短日13	田中恵美子(田中)	3	高25	吉田真子(藤田)	7.5	高7	斎木洋子(岡崎)	3
大13日	宮田史子(原)	3	短日15	谷田ゆかり(長岡)	6	高27	鈴木智子(柳井)	3	高7	原口ふさ(成田)	3
大13英	滝本あい子	6	短日16	山口伸子(堅田)	6	高27	横田のぞみ(山中)	3	高7	田中彰子(長谷川)	3
大14日	諫山貴子(青柳)	3	短日16	山崎三千子(林)	3	高27	吉村弓子	3	高7	曾田邦子(馬場)	3
大14日	福原孝子(三角)	3	短日16	樽本久美(藤原)	3	高29	佐藤久美(林)	3	高7	三輪節子	3
大15日	中嶋まどか(二田水)	3	短英17	植木明子(岡村)	3	高29	宮本まり子(山本)	3	高8	松本節子(鳥居)	3
大15英	森元妙子(尾崎)	9	短英20	井上悦子	3	高29音	桃崎元美	3	高8	秋本清子(八田)	3
大15英	田中文代(寺田)	3	短日22	古谷かおり	6	高30音	明田恵美(四方田)	3	高8	久保英子(村上)	3
大16日	野見山百葉(末松)	6	短日24	三ツ川由香(元田)	3	高32	岩男晶子(鍋島)	6	高9	小園美智子(池田)	3
大16日	植月明美(山下)	3	短日25	塚本弘美(田中)	3	高33	匿名希望	3	高9	宮元恒子(勝本)	3
大16日	小川滋子(山本)	3	短日26	三井千秋(津田)	3	高33	木村丹穂(清水)	3	高9	安藤清子(菊谷)	3
大16日	土河美枝子(吉本)	10	短英28	佐々木理子(石川)	3	高33	寺原邦子(坂本)	3	高9	田中浩子(倉田)	3
大17日	安藤 恵(安藤)	9	短英29	小野佳子(江藤)	3	高33音	伊藤亜希子(安尾)	3	高9	松岡郁子(田原)	3
大17語	福井和美(下澤)	3	短英29	桃木紀子	3	高34	松田奈保子(異儀田)	3	高9	谷 禎子(西村)	9
大18日	稲見みぎわ(大藪)	3	短日29	野中美和	3	高36	木元和代(大庭)	9	高10	伊田美智子	3
大18英	北野万里子(古賀)	3	短日31	俵口千恵(坪根)	3	高36	武嶋圭子(品川)	3	高10	市河純恵	3
大18語	江後紀久子	3	短コ2日	中村容子	3	高36	前田知由紀	3	高10	藤井信子(鈴木)	3
大18語	河野行子(藤田)	3	短コ3日	高取萬智子	3	高37	沼崎素子(田中)	3	高10	島谷幸子(豊田)	3
大22日	田中純子(松田)	3	短コ4日	大澤宣子(高橋)	3	高38	稲岡昭子(黒瀬)	3	高10	田中美紗子(長尾)	3
大25日	永野実芳	3	大1日	梅尾澄枝(秋本)	3	高41	櫻井敬子	3	高10	浜谷静枝	50
大25英	富田秀美(橘)	3	大1日	原田清子(大賀)	3	高42音	許 伯恵(許)	3	高11	堀内紀代子(立石)	3
大25語	篠崎亜紀子(越智)	3	大1日	片山宣子(清川)	20	高43音	相原和子(五郎丸)	3	高11	小林周子(中本)	3
大26英	宇都宮英里子(坂本)	3	大1英	下村順子(内田)	15	高43音	竹本優子	3	高11	桐村亘子(松田)	3
大27語	椎木悦子(中島)	3	大1英	熊谷豊子(河野)	3	高50	佐々木千歳	3	高12	和田禮子(石黒)	3
大28語	志水理香(末永)	3	大1英	宝辺静子(久保)	3	高57	松本由希	3	高12	中尾美恵子	3
大30日	田中美紀(難波)	3	大1英	饗場英子(近藤)	3	高60	安富 遥	3	高12	井藤澄子(中村)	10
大38英	匿名希望	50	大1英	田尾絹子(田中)	3	高70音	渡邊奈瑠	3	高12	高濱順子(吉田)	3
	片岡 紫	3	大1英	津田のり子(中田)	3	短英1	野村佐登美(郷)	6	高13	青木禮子(青木)	5
院前日3	林田千恵子(蔦)	3	大2英	石田邦子(神西)	6	短英1	阪本和子	3	高13	公野映美	3
院前日5	大塚順子(木下)	3	大2英	向野泰子(田島)	3	短英1	高橋みどり(力丸)	3	高13	武内信恵(武内)	3
院前日10	澤山淑子	3	大2英	松井節子(山下)	3	短日1	藤井久美子(木川)	3	高14	山下雅子(奥田)	3
院前日15	久保田智榮子(今井)	3	大3英	松井孝子	3	短日1	谷川百枝(山本)	3	高14	小野由子(嶋村)	10
院前日36	西山友梨	3	大3英	山本洋子(湊)	3	短英2	小原政子	3	高14	白須美砂子	10
	寺本拓海	1.92	大4日	志保みはる	6	短日2	勝本智子(上野)	3	高14	岡崎郁子(西川)	3
会友	立石琴美(北脇)	3	大4英	篠塚玲子(寺井)	3	短日2	畠中節子(中島)	10	高15	大田登久子(榊)	3
			大4英	大寺和美(前田)	3	短日3	正文文恵(田中)	3	高15	有富洋子(村上)	3
			大5日	末武伸子(藤井)	9	短日3	松村和代(堀江)	6	高15	原 妙子(面出)	3
			大6日	平川典子(神峯)	3	短英4	大野美加子(益森)	3	高17	中村俊子(岡)	3
			大6日	林 由紀(寺本)	3	短日4	西村佳代(川村)	3	高17	笹山ヤス子(山田)	3
			大6英	立山美津子(浜田)	3	短日5	栗山英子(中村)	3	高18	越智咲子(堀越)	3
			大7英	香月順子	50	短英6	手島千恵子	3	高19	植田澄子(植田)	15
			大7英	磯谷由美(林)	10	短日6	島田好子(古賀)	3	高19	松田ちづこ(山中)	3
			大日8	小田玲子(小袋)	10	短日6	浜田洋子(中田)	9	高20	千代丸多恵子(岡本)	3
			大英8	大本美智子(江崎)	3	短日6	福永芳枝	3	高20	大久保礼子(児玉)	9
			大日9	富田栄子(國米)	15	短英8	川端佳子(梅田)	3	高20	安成百合子(竹田)	6
			大英9	西嶋俊香(畔地)	3	短英8	濱 祐子(瀬戸崎)	3	高20	松田美恵子(松田)	3
			大10日	若山邦美(榎)	3	短日8	檜崎美佐子(松本)	3	高21	金沢寿栄子(富下)	3
			大10日	財津理津子(吉川)	3	短日8	幡吉真弓(森川)	3	高21	飯沼菜保美(山村)	30

卒業生総数	
梅ヶ崎	150
光城	80
梅光(旧制)	2,413
高・中	13,743
短大	13,996
大学・大学院	10,093
計	40,475
2021.3.31 現在	



2022(令和4)年度



同窓会総会ご案内

6/18

(土)

会場:シーモールパレス

会費: **懇親会費含む** 4,500円

たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

総会・懇親会にご出席の方は、会誌に同封の振込用紙(今年より振込料が発生します)でお申し込み下さい。振込用紙紛失の場合は郵便局で[下関13100番]の口座に振り込んで下さい。

受付 10:00~

開会 10:30~

申込
方法

6月1日(水)まで

振込用紙・電話・メール・はがき
にて同窓会事務局に申し込む

火・金曜日 13時~16時在室

プログラム

10:30~12:30

(1) 総会「ダイヤモンドの間」

●礼拝 ●審議

13:00~15:00

(2) 懇親会「エメラルドの間」

●軽食・懇談

コロナの状況により変更の可能性あり

当番幹事 当番幹事さんについては後日幹事の方にご連絡致します。

2022年度予定

第22回 梅光メモリアルデイ

日時 2022年7月4日(月)

午前10時

場所 下関生涯学習センター

●礼拝

●コール梅光合唱

梅光学院同窓会事務局下関市向洋町1-1-1/TEL(083)227-1111
E-mail: jimukyoku@baiko-dousoukai.jp